



講師 文化庁長官 臨床心理学者・京都大学名誉教授 河合 隼雄 氏

近代科学は20世紀に爆発的に進歩し、それと結びついたテクノロジーの発展によって、現代の人間は過去には想像もできなかった便利で快適な生活を送っている。

「人間」—それも生きている人間—を科学研究の対象としたとき、近代科学の発展に刺激され、それと同様の方法によって研究することが一時期非常に盛んになった。しかし、人間を対象とする限り、研究者と対象者の間に「関係」が存在し、それが非常に重要な要因になる。カウンセリングを受けに来た人に、「客観的」に「関係を断って」接するとどうなるかといえば、これでは望ましい結果を得られないのである。このことは医療の場合も大切になるところがあると思われる。「人間」を対象とする人文科学や社会科学において、その方法論を見直そうとする動きが生じてきた。これらのことを具体例を示して論じてみたい。

日時と場所	平成17年6月27日（月曜日） 18時15分～19時45分（開場17時30分） 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
参加費用	無料
定員	先着500名
対象	学生・教職員及び一般の方々
申し込み	定員になりましたので、申し込みを締め切りました。次回のお申し込みをお待ちしています。（6月14日） 当ページ申込フォームまたは往復はがきにて下記までお申し込みください。 なお、往復はがきによる申し込みについては、「第15回未来フォーラム参加」と明記の上、住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入し、返信はがきには、必ずご自身の宛先を記入してください。
問い合わせ先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学百周年時計台記念館事務室 TEL 075-753-2285（月～金曜日 9時00分～17時00分） http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm E-mail: kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

主催 京都大学

後援 （財）京都大学教育研究振興財団